２学期　始業式

夏休み中に、陸上部３名が県大会に出場しました。とても暑い日でしたが、それぞれ頑張ってきてくれました。また、吹奏楽部がコンクールに出場し、金賞を受賞しました。中学校Ｃ部門という少人数編成の部で、その中でも一番の少人数だったそうですが、見事金賞。よく頑張ったと思います。うれしい報告をしてもらいました。

さて、今日から令和４年度の２学期が始まります。「さあ、がんばるぞ」、と気持ちを新たにして登校してきた人も多いと思います。２年生は、いよいよ来週、１年生は１０月に宿泊体験学習が予定されています。また、体育祭や合唱祭といった大きな学校行事もあります。３年生にとっては、最後の体育祭と合唱祭です。皆さん一人一人の活躍を期待しています。

２学期も本校のテーマは「自律」です。私たち大石南中には、生徒の手によって作られた生活のきまり「石南ＬＩＦＥ」があります。この「石南ＬＩＦＥ」は今、生徒会を中心に改定に向けて動いています。石南ＬＩＦＥを作った今から４年前、平成３０年１１月２３日に読売新聞の記事に、このことが取り上げられています。記事を読み返してみると、当時の生徒会長の福島さんは「新校則のよい面を残しつつ、自分たちで柔軟に変えていってほしい」と後輩へ向けて述べています。作成当時の先輩方の思いを受け継ぎ、改訂に取り組んでいる現生徒会本部と全校生徒の皆さんの今後に期待しています。

また、昨年度から新たに運用をはじめた「大石南地区スター宣言」があります。これらを指針としてここまで皆さんの様子を見てきましたが、自分たちでしっかりと考え、行動する姿勢をいろいろなところで見せてもらいました。ぜひ２学期も継続し、上尾で１番を目指して欲しいと思っています。

今日は、２学期始業式にあたり、「情けは人のためならず」ということについてお話しします。

「情けは人のためならず」どんな意味だと思いますか。「情けをかける」という言い方をしますね。「情け」は「人に親切にする」と置き換えてください。

「親切にすること」は、「人のためならず」なんです。

これをそのまま受け取って、「人に親切にすることは、その人のためにならないので、むやみに親切にしてはいけない」とか、「人に親切にすると、余計なおせっかいになってしまうことがあるので、しないほうがよい」というように使われることがあるようですが、これは間違いです。本当の意味は、「人に情けをかけておけば、それが巡り巡ってまた自分にも良い報いが来る。人に親切にし

ておけば、必ず良いことがある。」という意味の言葉なのです。「思いやりをもって人と接すれば、その思いやりがいつか自分に帰ってくる」という暖かい意味の言葉であるといえます。

これまで、繰り返しお話をしていますが、私は大石南中学校が、全校生徒の皆さんにとって居心地のいい場所であって欲しいと思っています。

何度も言っていますが、「自分のして欲しくないことを人にしてはいけない」ということは、全員に心がけて欲しいことです。さらに、全校の皆さんが、周りの人に思いやりをもって接することで、もっともっと過ごしやすい学校になると思っています。２学期、心がけて周りの人にたくさん親切にしてください。それは、必ず自分に戻ってくるはずです。

最後に、この言葉と同じように、間違って使われることがある言葉をもう一つ紹介します。答えは言いませんので、あとで、検索して調べてみてください。

「気が置けない人」（「気」は気持ちの気です。）どんな人のことをいうでしょうか。

以上、２学期始業式の言葉とします。

校長　大澤　聡